

本市の状況について

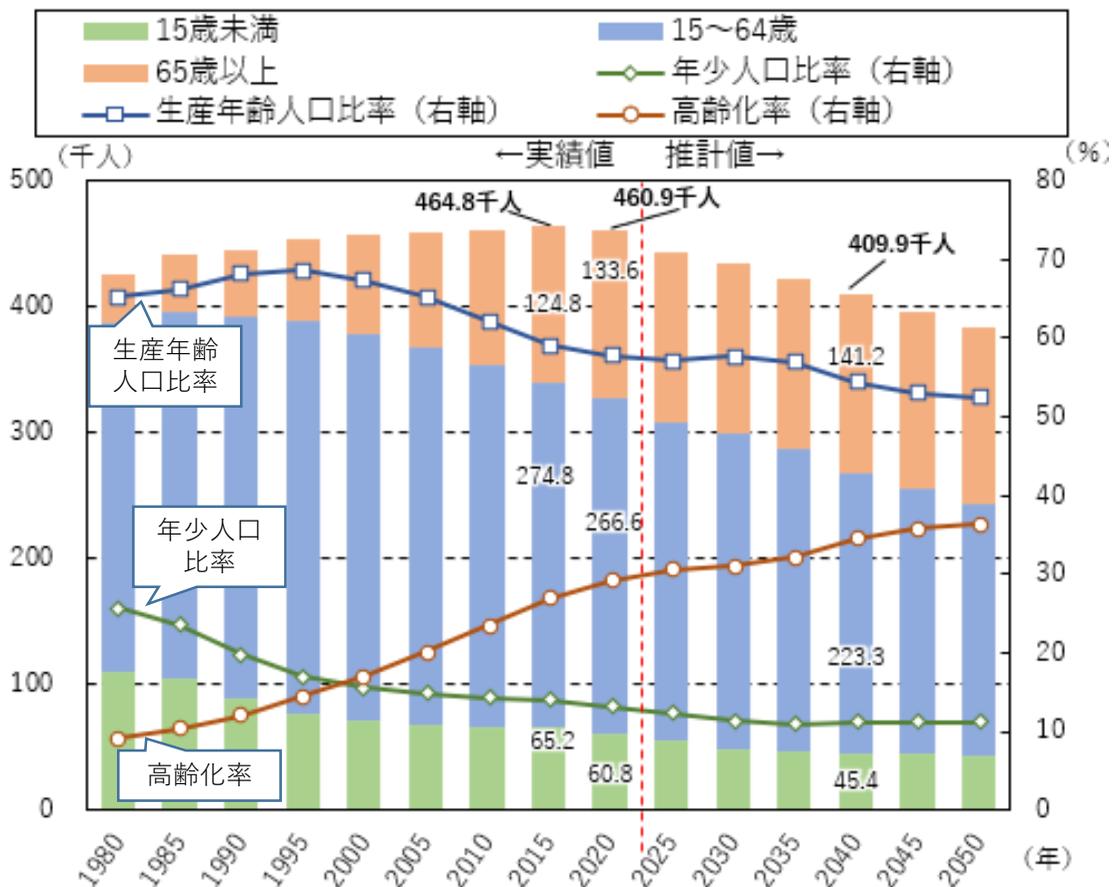
2025年（令和7年）5月12日

福山市保健福祉局福祉部福祉総務課

1 人口の現状について

- ・ 福山市の人口は、**2020年（令和2年）の国勢調査で460,930人**（2040年には、409,900人の推計値 ▲約50,000人）
- ・ 住民基本台帳における人口は、**2025年（令和7年）3月末で453,266人と、46万人を割り込む状況**

【福山市の将来人口推計グラフ（年齢3区分別）（外国人を含む）】



【2000年→2020年の変化】

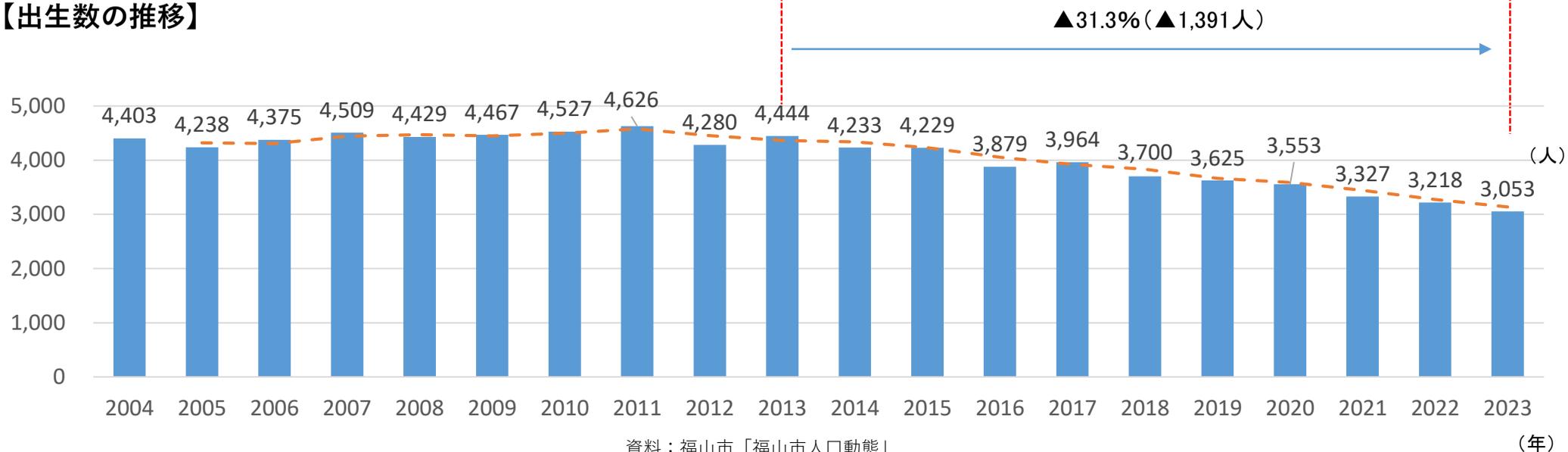
- 年少人口比率(15歳未満)
15.5%(70,932人) → 13.2%(60,790人)
▲2.3ポイント(10,142人)減少
- 生産年齢人口比率(15~64歳)
67.4%(307,997人) → 57.8%(266,560人)
▲9.6ポイント(41,437人)減少
- 高齢化率(65歳以上)
17.1%(77,979人) → 29.0%(133,580人)
+11.9ポイント(55,601人)増加

※2000年以降は、
年少人口比率と高齢化率が逆転

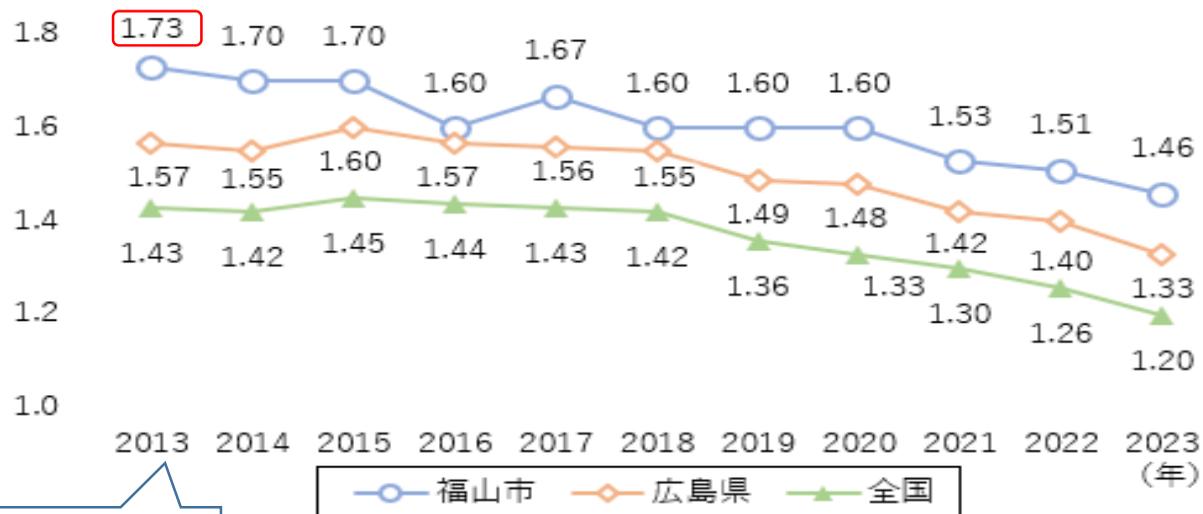
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023年（令和5年）推計）
※2020年までは国勢調査の実績値（年齢3区分人口は年齢不詳を按分した数値）、2025年以降は推計値

2 出生数について

【出生数の推移】



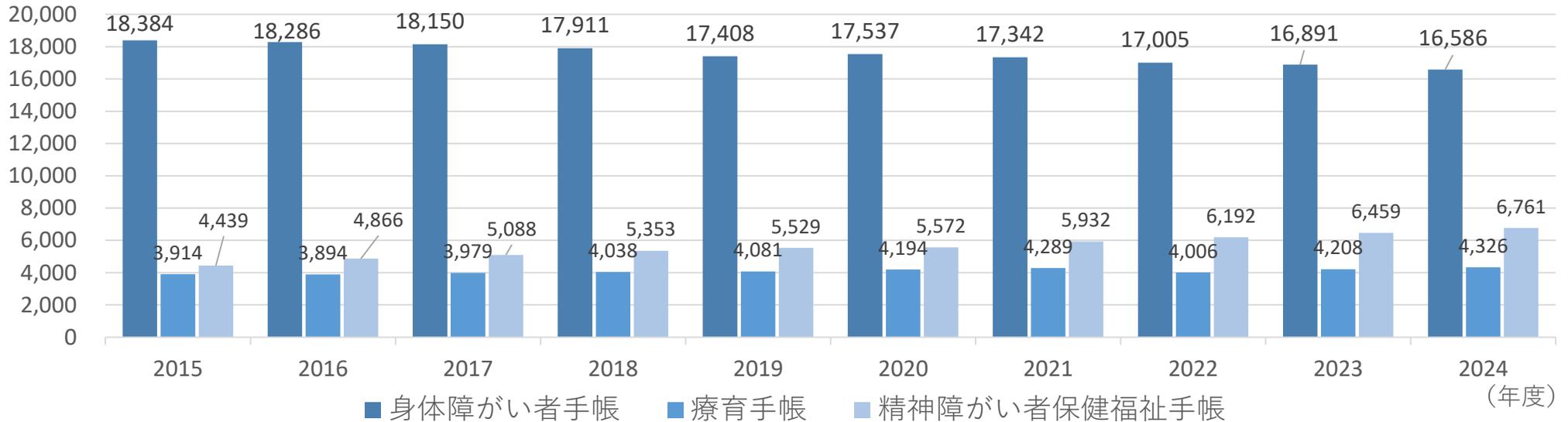
【合計特殊出生率】 ※参考：希望出生率1.90（福山市）



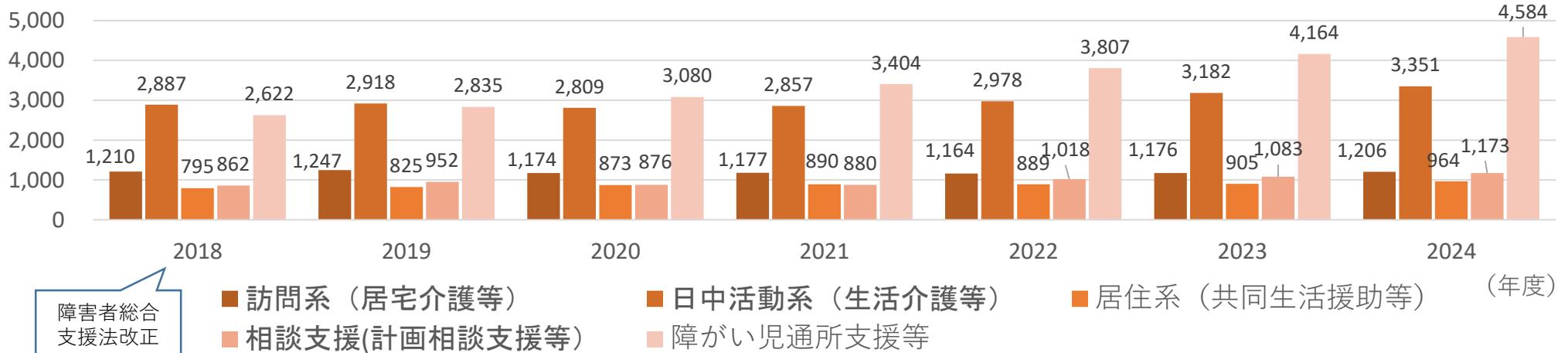
福山市合計特殊出生率ピーク

3 障がい者手帳所持者数及び障がい福祉サービス等の利用者数について

【手帳所持者数の推移】



【障がい福祉サービス等の利用者数の推移】

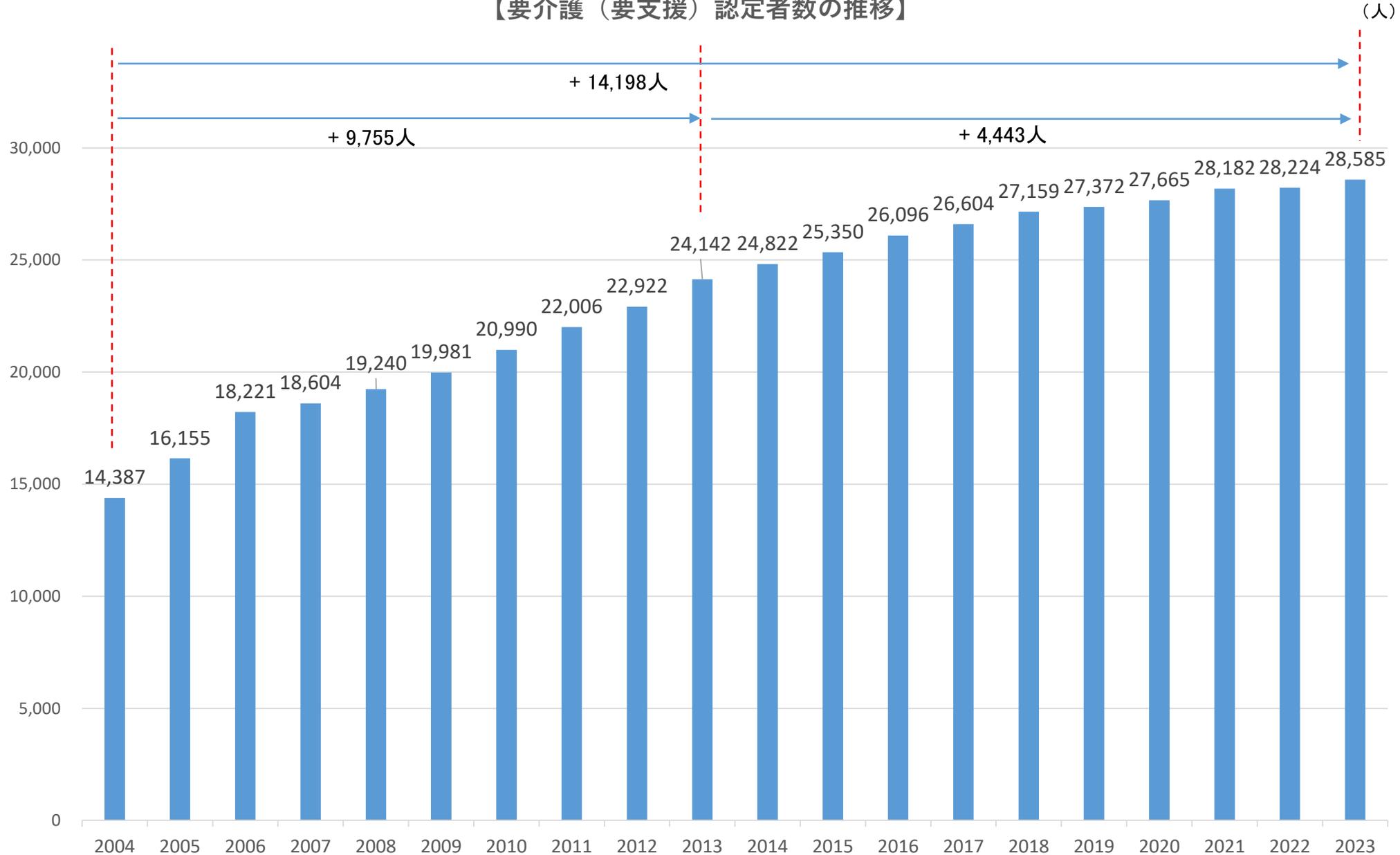


障害者総合支援法改正

手帳所持者数は分野によって増減はあるものの、障がい福祉サービス等の利用者数は増加

4 要介護（要支援）認定者数について

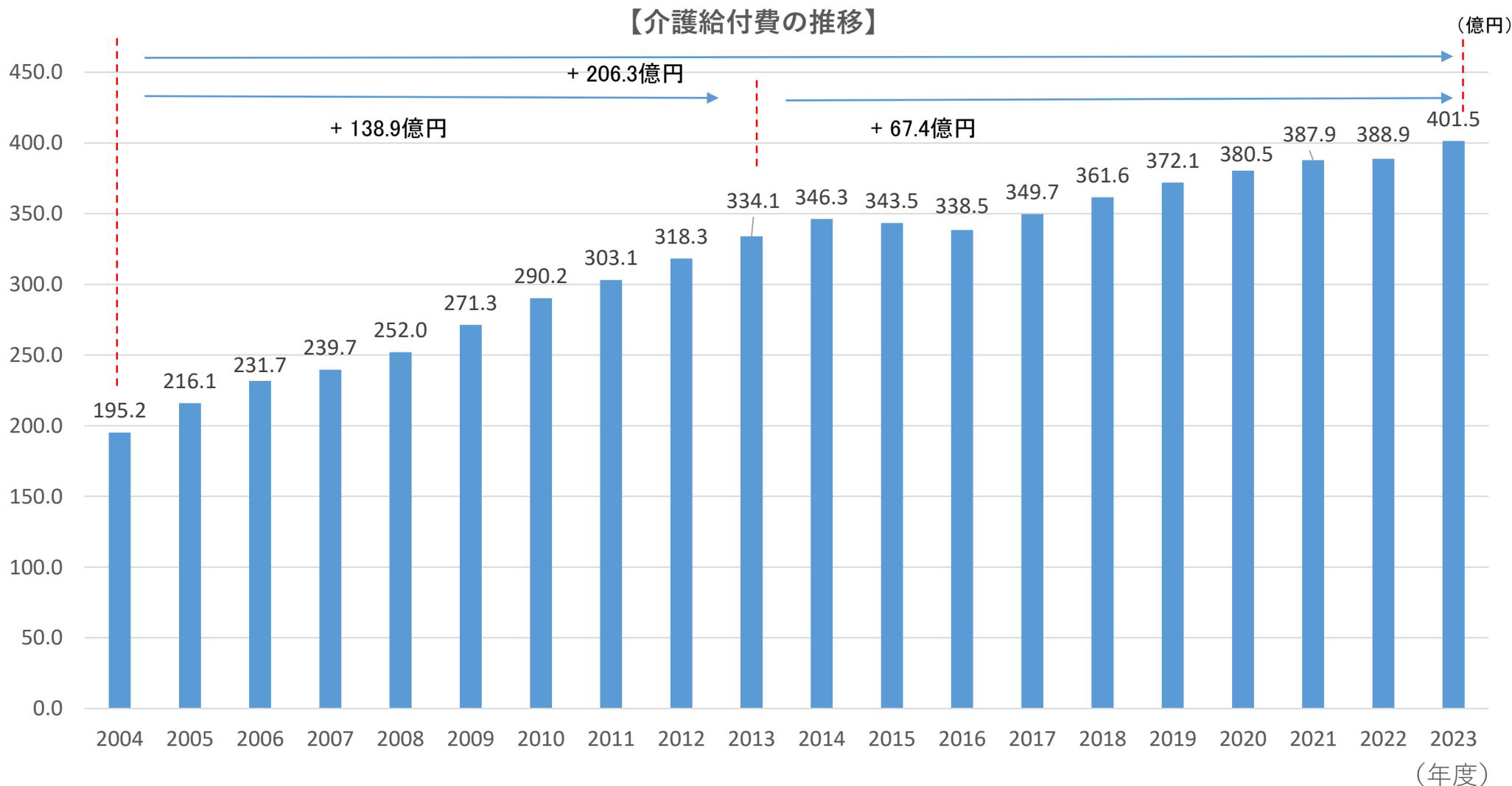
【要介護（要支援）認定者数の推移】



認定者数は20年間で約2倍に増加

※各年度の認定者数は年度平均 (年度)

5 介護給付費・介護保険料について



介護給付費の増加とともに、介護保険料も増額

第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期
2000(平成12)年度 ～2002(平成14)年度	2003(平成15)年度 ～2005(平成17)年度	2006(平成18)年度 ～2008(平成20)年度	2009(平成21)年度 ～2011(平成23)年度	2012(平成24)年度 ～2014(平成26)年度	2015(平成27)年度 ～2017(平成29)年度	2018(平成30)年度 ～2020(令和2)年度	2021(令和3)年度 ～2023(令和5)年度	2024(令和6)年度 ～2026(令和8)年度
3,183円/月	3,458円/月	4,642円/月	4,258円/月	5,500円/月	5,867円/月	5,867円/月	5,867円/月	6,483円/月

①ネウボラセンターの開設（2025年8月～オープン）

- 子育て・若者の相談機能を集約
- オンラインを活用した手続きの受付
- こどもの遊び場等の充実
- ※相談・手続きのワンストップ化（2026年4月～）

②保育サービス・医療提供体制の充実

- 経済的負担の軽減
 - ・ 第2子以降の保育料無償化
 - ・ 保育施設等の給食材料費高騰に伴う保護者負担増の抑制
- 保育サービスの充実
 - ・ ①湯田複合化施設の整備（基本設計等）
（保育所、幼稚園、交流館、老人福祉センターの複合化）
 - ・ 保育士の配置基準見直しによる体制強化
 - ・ こども誰でも通園制度の拡大
 - ・ 保育施設の広域利用の実施
 - ・ 専属コーディネーターによる保育士の復職支援
 - ・ ベビーシッター派遣型の病児・病後児保育の拡充検討
 - ・ （仮称）あけぼのこども園の整備
（実施設計等、2027年度整備完了予定）
 - ・ 保育施設等への移動図書館車「わくわく号」の訪問
- 医療提供体制の確保
 - ・ 小児救急・周産期医療体制の確保（寄付講座の実施）
 - ・ 周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等整備
（福山市民病院）
 - ・ こども発達支援センターにおける児童精神科の受入体制強化

③多様なニーズに応える子育て支援の充実

- ①こども未来づくり基金の設置
 - ・ 子育てしやすい・したいと思えるまちの実現に向けた施策の推進
- ②こども未来づくり100人委員会提案事業の推進
 - ・ 市民の声を届け、提案事業の磨き上げを支援
- 地域での交流機会の充実
 - ・ ①交流館へ屋内キッズスペースを試行的に設置
 - ・ こども食堂等の運営支援の強化
（こどもの遊び場等を補助対象に追加）
- 医療的ケア児への支援
 - ・ 看護師同乗による通学支援の強化
- デジタル化による負担軽減
 - ・ 相談予約や手続きのオンライン化の拡大

④少子化対策の拡充

- 出会いと結婚を希望する人へのサポート
 - ・ 趣味や仕事等を通じた出会いの場の創出
 - ・ カップル・新婚夫婦が市内協賛店で特典を受けられるパスポートの発行
- 経済的負担の軽減
 - ・ 不妊・不育症の治療費の支援
- 子育てにやさしい社会の機運醸成
 - ・ 子育て応援ウィークによる共働き・共育ての機運醸成

⑤健康づくりの推進

○ 介護予防・フレイル予防の推進

- ・ ④フレイル予防の実践や普及啓発イベントの実施
- ・ 民間活力を活用した介護予防の実施
(ふくやまSHINKAプロジェクト)
- ・ フレイルチェック会の実施

○ 認知症対策の推進

- ・ ④認知症啓発映画の上映
- ・ ④親子向け認知症サポーター養成講座の実施
(VRによる疑似体験)
- ・ 認知症ナビの簡易スクリーニング検査による早期発見・予防

⑥社会参加の促進

○ デジタル技術の活用促進 (デジタルデバイドの解消)

- ・ ④スマートフォンの購入支援・活用支援講習会の実施
- ・ ④高齢者向け情報の集約・発信
(専用サイトによる発信)

○ 老人大学の魅力向上

- ・ 新たな講座開設による学びの充実

○ 補聴器の購入支援

⑦生活支援の充実

○ 高齢者等ごみ出し支援の本格実施

○ 移動支援の充実

- ・ 地域ボランティアによる外出・買物支援
- ・ オンデマンド乗合タクシー導入地区の拡大

⑧誰もが安心できる福祉の充実

○ 重層的支援体制の強化

- ・ 専門人材の増員による困難課題への対応強化
- ・ 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの拡充による支援の強化

○ 障がい福祉サービスの提供体制の強化

- ・ ④障がい福祉サービス等事業所の人材の確保・育成支援
(資格取得のための研修費の支援)
- ・ ④緊急時の支援体制の整備
(介護者急病時の一時受入れなど)

○ 生活困窮世帯等への支援

- ・ 住まいに関する相談支援の強化
(相談支援員の配置、転居費用の支援)
- ・ 就労相談支援員等による自立に向けた支援
- ・ 生活困窮世帯等のこどもへの支援 (登校や学習)